

# 令和5年度豊後高田市学力向上推進計画

## I 学力向上推進計画の基本的な考え方

豊後高田市においては「教育のまちづくり」をスローガンに掲げ、「夢を描き、実現できる子どもの育成～子どもたちが自分の好きなことをより好きに～」を主目的にして、学校と家庭、そして地域が一体となって子どもたちの教育を行っています。



推進のもとになっているのは、平成28年3月に「新たな時代の変化に対応し、将来にわたって魅力ある豊後高田市を創る」ために策定された「第2次豊後高田市総合計画（平成28年度～令和7年度の10年間の計画）」です。今年3月に改定されましたが、根底に流れている「千年のロマンと自然が奏でる交流と文化のまち」や「まちづくりの4つの基本目標」は基本としつつ、人口減少問題の克服と新たな時代の変化に対応するための改定です。

この第2次の総合計画でも教育をはじめとして、まちづくりや産業等の分野別計画が策定されていますが、教育に関する部分が、「豊後高田市総合教育計画」として位置づけられています。

さらに、「豊後高田市総合教育計画」の中から今年度の重点施策を定めたものが、指導指針であり、教育新興基本計画（教育ビジョン）です。

また、国・県・市の学力学習状況調査の結果を分析したうえで学力面を重点にして、組み立て直したものがこの「豊後高田市学力向上推進計画」です。

豊後高田市学力向上推進計画の位置付け

豊後高田市総合計画 ⇨ 豊後高田市総合教育計画 ⇨ 豊後高田市教育振興基本計画 ⇨ 豊後高田市学力向上推進計画  
(教育ビジョン)

## II 全国学力・学習状況調査及び県学力定着状況調査の取組

豊後高田市では毎年、学力向上の施策を講じるために、文部科学省による全国学力・学習状況調査(小6・中3年生対象)、大分県教育委員会による大分県学力定着状況調査(小5・中2年生対象)を実施するとともに、2学期末に、本市主催の学力状況調査を実施します。そして分析の上、改善策を講じています。

今年度は、全国学力・学習状況調査を令和5年4月18日(火)に実施し、令和5年4月25日(火)に大分県学力定着状況調査を実施しました。

この分析及び改善策については後日、豊後高田市のホームページに全国学力・学習状況調査及び大分県学力定着状況調査結果報告に詳しく解説しますので参考にしてください。

そして、先に実施した2つの調査の結果をうけて、当面の学習指導を行います。

さらに、2学期末の豊後高田市学力状況調査において、評価を行い、スパイラルに次の改善につなぎます。

これまでの分析の結果では、全国や大分県でも課題になっている思考力・判断力・表現力等に課題があり、改善に向けて新大分スタンダードに添った指導、また協調学習を取り入れた授業を行う必要があると考えています。加えて、大きな課題である英語力向上に向けて小

中連携による取組を推し進め、計画的に推進会議や研修会を設定し教員の英語授業力向上に向けて取り組んでいきます。

### Ⅲ 具体的な学力向上の取組

#### 1. 「昭和の町は教育のまちです」事業

豊後高田市では、平成14年に中心市街地活性化の取組として、商店街に埋もれていた昭和30年代の町並みを復活させることにより、寂れていた商店街が「昭和の町」として観光地化されました。

この成功事例から学ぶことはたくさんあります。新規開発ではなく、昭和30年代まで栄華を誇った町並みや歴史的遺産を復活させることに目を付けた着眼力や逆転の発想。夢の実現のために、関係者を説得した熱意と説明(プレゼン)能力。お宝は灯台下暗し。そして、「継続は力」という言葉と実践力です。

この成功事例による派生効果は並々ならないものがありました。市役所職員、商店主、市民の意識が変わってきましたし、農業、自然環境、第6次産業に創造意欲が高まり、ソバ生産、合鴨農法、特産品加工などが盛んになりました。

この成功事例は教育分野にもあてはまります。昭和30年代の学校教育のよさを再発見・発掘し、実践しようというのが「昭和の町は教育のまちです」事業です。

さらに、本市の教育の根底には昭和の時代に国語教育実践家の大村はま先生が実践されて残された「教師はおおいに尊敬されていい職業です」「言葉を育てることは心を育てること、人を育てること、教育そのものです」「プロ教師」という言葉や考えが流れています。

この事業には、「学びの21世紀塾」や豊後高田市学力定着状況調査事業などが体系的に整理されています。

詳しくは、HP掲載の「昭和の町は教育のまちです事業について」を参照願います。

#### 2. 「芯の通った学校組織」の深化・充実による学力向上推進体制の確立

これまでの「芯の通った学校組織」の取組により、学力の向上については、「芯の通った学校組織」が定着し、**教職員がプロ意識を持っている学校**(組織力の高い学校)ほど学力も高い傾向があることが明確になっています。

**プロとしての誇り**

そこで、学力向上に向け、大分県教育委員会、豊後高田市教育委員会と管内の学校が連携して、「芯の通った学校組織」の深化・充実に取り組めます。

また、本県教育委員会や本市教育委員会の方針を各学校に明確に伝えるために、市内の校長、教頭、教務主任等の会議を定例化し、協議を進め、すべての学校が歩調を合わせるようにしています。

##### (1) 定例校長・学校支援センター長・幼稚園長会の開催

全ての学校で「芯の通った学校組織」の深化・充実が図れるように、大分県教育委員会の施策や豊後高田市の方針を説明・協議する場として、毎月1回(原則)開催し、同一歩調が取れるようにします。

## (2) 教頭・副学校支援センター長・副幼稚園長会の開催

各学校において、校長を補佐し校長の学校経営方針が教職員に周知され、具現化できるように、県教委及び市教委の施策を説明・協議する場として必要に応じて開催します。

## (3) 教務主任会の開催

校長の方針を職員に適切に伝えるとともに具体的な方策を立案できるように、大分県・豊後高田市の施策を説明・協議するとともに、各学校の情報提供・情報交換をし、自校の施策に活用できるようにします。

## (4) 研究主任会の開催

学力向上の大きな柱となる日々の授業を実施・改善し、授業による大きな成果が得られるように、実践事例の報告や情報交換を行います。

# 3. 指定研究の実践

学力向上や基礎学力定着による児童生徒の育成は、日々の1時間1時間の授業を大切にしてい、日常的に児童・生徒の学力を育むことが大切です。また、社会の変化とともに変わりつつある教育課題を児童・生徒の実態に即して指導をしなければなりません。

とりわけ、2020年から順次実施された新しい学習指導要領の大きな目標である「主体的、対話的で深い学び」の実現のために、文部科学省・大分県指定研究事業、豊後高田市では独自の研究事業行って研究を深め、指導方法を工夫しています。

そこで、文部科学省や大分県教育委員会指定の研究を積極的に受け、内容や手法別の研究テーマにより、国や県の指導を仰ぎながら研究を進めます。

### (1) 文部科学省・大分県指定研究事業及び各種団体指定の研究事業

文部科学省の推奨する授業内容や授業方法を実証するために、校内研究として実践し、成果を検証したうえで改善（授業力向上）につなぎます。

また、豊後高田市人権・同和教育研究協議会や学校給食研究協議会との共同研究を行い、児童・生徒の資質向上を図ります。

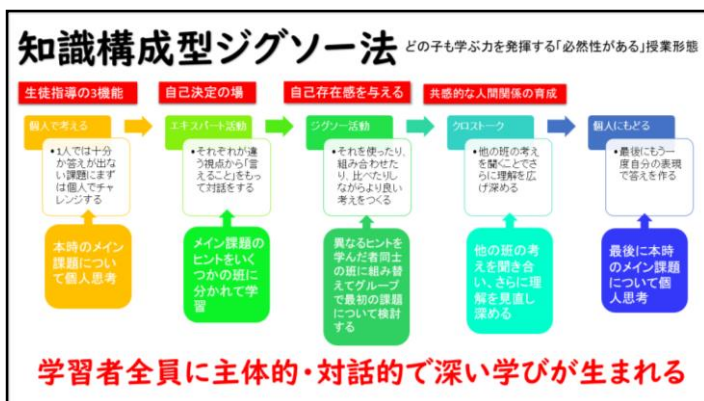
### (2) 豊後高田市「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習・指導方法改善のための実践研究事業

「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習・指導方法改善のための実践研究事業を行い、主として知識構成型ジグソー法による「協調学習」を実践研究します。

#### 《協調学習実践校：高田小、戴星学園》

- ① 「知識構成型ジグソー法」を取り入れた授業に関する実践研究を行います。
- ② C o R E F 関係者を招聘し実践研究を行います。
- ③ 研究成果を市内へ普及します。

また、豊後高田市においては、基礎基本の定着とともに、活用力を育むために、文部科学省、大分県教育委員会の方針に添って「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業



改善PDCAサイクルの日常化」を統一テーマとして授業改善に努めます。

④ 仮説検証型授業研究を進めていきます。

### (3) 豊後高田市学力向上プロジェクト事業

全国学力・学習状況調査、大分県学力定着状況調査、本市学力状況調査等から児童生徒の学力・学習状況を明らかにし、その課題解決のための指導方法を工夫改善し、子どもたちの「学びに向かう力」「基礎的・基本的な知識・技能の習得」「活用する力(思考力・判断力・表現力)を育成するワンランク上の授業を創造します。

また、近年、新規採用者の増加傾向にあり、域内の経験年数の短い教員の人材育成が喫緊の課題となっている中で、経験年数の短い教員等の授業力向上を図ります。

児童生徒の学力向上、経験年数の短い教員等の授業力向上のため以下の会議を開催します。

#### ★学力向上推進会議（年3回以上）

構成員：校長、各学校学力向上担当、市教育委員会事務局

■各種学力調査に関する実施、結果分析等の検討

#### ★学力向上プロジェクト会議（年6回以上）

構成員：授業力向上アドバイザー、中学校英語教育推進教員、小学校教科担任制推進教員、初任研拠点校指導教員、市教育委員会事務局

■経験年数の短い教員等の授業力向上に向けた取組を協議し、校長会で発信する。

■つけたい力を明確にした単元の指導計画と本事案を持ち寄り、市学力向上プロジェクト会議で検討する。

#### ★拡大学力向上プロジェクト会議（年3回以上）

構成員：学力向上プロジェクト会議の構成員、拠点校・兼務校校長

■学力向上プロジェクト会議で見えた課題の検討

### (4) 外国語教育・英語教育の推進

児童生徒の英語力向上のため、計画的に「外国語教育推進会議」「外国語教育推進協議会」を実施し、域内の外国語教育の課題の検討や各種研修会を行い、外国語教育の推進を図る。またブロック会議を年3回以上持ち、小中連携を進めていく。

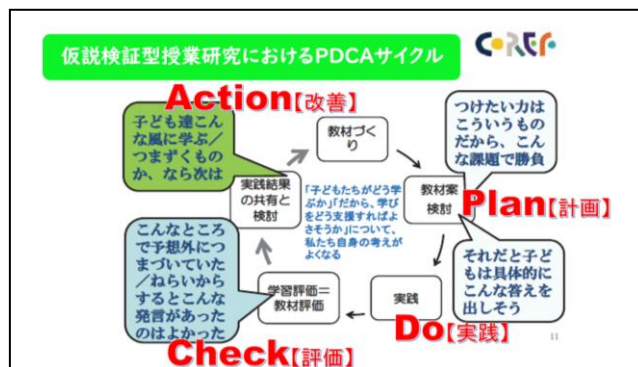
## 4. 授業力・指導力の向上を図る研修会の開催

### (1) 学校組織マネジメント・リーダー研修会

文部科学省や大分県教育委員会、そして豊後高田市校長会との連携により、学校組織や学校の教育活動をマネジメントするためのスキルを備えたリーダーを育成することによって、学校経営や教育活動の効率を高め、学力向上を図ります。

### (2) マネジメントサイクルを生かした校内研究

新年度には、今までの実践をリセットすることなく、指導技術をスパイラルに向上させるマネジメントサイクルにより校内研究をすすめる、指導技術のさらなる向上が図られるように校内研究を進めます。さらに、前述のようにチーム高田として、連携するために統一テーマを設定し、切磋琢磨します。



### (3) 先進地視察研修(教職員特別研修事業制度)

全国学力・学習状況調査の結果や課題を踏まえ、自校の学校経営や学級経営、研究方針及び体制・内容等、多様な側面から見直しを図るための取組として、「昭和の町は教育のまちです」事業における教職員特別研修制度を効果的に活用し、実績のある小・中学校の視察や全国規模の研究会や研修に参加し力量を高めます。

視察した研修内容を交流し合いながら、自校の取組に即効性を持たせ、効果的に進めます。また、市内の学校に還流し、広めます。

## 5. 各学校の主体的な学校運営に基づく学力向上の取組

### (1) 日々の教育活動を総括し、改善につなぐ学校評価

各学校においては大分県や教育事務所、市の教育指針や基本方針、学校や地域の実態に沿った学校教育目標を設定し、学校評価の4点セットをツールとしてマネジメントを行います。

また、学校関係者による評価も市内全ての学校に設置しているコミュニティ・スクールの委員(学校運営協議会委員)の方々等の協力により実施し、児童・生徒への教育に生かします。

さらに、市内の4校を第三者評価モデル校に指定し、学校運営評価委員会による評価活動を実施します。

### (2) 「生きて働く学力向上プラン」の作成と学力向上会議の開催

学力向上プランについては、全国学力・学習状況調査の結果や大分県学力定着状況調査の実施後、速やかに分析し、改善の手立てを策定します。(学力向上プラン1)

そして、8月に開催する第1回学力向上会議の際に出された意見を参考に各学校において協議を行うとともに見直しを行い、2学期にむけての取組の指針とします。

さらに、今年度も12月に開催する豊後高田市学力状況調査(小3年～中3年)や年度末の学習状況をもとに学力向上プランを見直し、実態に応じた改訂版(学力向上プラン2)を作成し、指導の指針とします。

そして、2月に開催する第2回学力向上会議では、1年間の成果や課題を検討し、年度末の指導に生かすとともに次年度の方針とします。

### (3) 管理職による日常的な「授業観察」及び教職員の意識改革

学校管理職による日常的な授業観察を始めたのは県内では豊後高田市が最初でした。

それが、教職員評価の進展にともなって、全県的な取組になりました。豊後高田市では授業観察は「当たり前」のこととして更なる高めを目指しています。

また、教職員の互見授業の日常化はもちろんのこと、学校長や教頭が授業等の観察というよりも、子どもたちへの指導や師範授業も進め、教職員の指導力、教材研究力を高める取組とします。

### (4) 学校・学級改善を図るための「授業公開」

学校は敷居が高いとか情報を隠すと言われることが多いのですが、地域の方々に広く学校

を公開して、意見をお聞きすることは大変意義のあるものです。そこで、毎月1回15日を中心に市内16校・2園で学校公開・保育参観等を積極的に実施します。

保護者のみならず地域住民に対して、日常の授業を公開することで、「開かれた学校」を目指すとともに、教師各自の授業改善に資するよう心がけています。

## 6. 授業を活性化し、効果を高める連携事業

### (1) 「地域人材活用事業」

学校と地域が連携し「協働」して児童生徒の学力向上に資するために、保護者や地域の人材を授業の中に学習サポーターやゲストティチャーとして活用する事業を実施します。

### (2) 「学校支援地域本部事業」

6校区の支援本部のコーディネーターが中心となり、学校支援としての地域人材派遣や人材データベースの作成の取組を実施します。

### (3) 保幼小中高連携推進

- ① 子どもたちが保育園・幼稚園から小学校、小学校から中学校に進学する際の学習面や生活面でのギャップを解消し、学びの楽しさを継続させながら確かな学力を保障するための保育園・幼稚園・小学校と中学校の連携のあり方を推進します。  
さらに、中高の接続のための連携も図ります。
- ② 保育園・幼稚園の年長からの小学校1年生までを架け橋期とし連携を充実させ「架け橋期プログラム」の開発に向け協議を進めていきます。
- ② 小・中学校の教員が授業力向上のための乗り入れ授業交流を実施します。
- ③ 幼稚園・小学校の教員が連携した指導のための公開授業を行います。
- ④ 児童・生徒の実態把握と学習指導及び生徒指導の共通理解を図るため、連携推進会議（スクラム会議等）を実施します。
- ⑤ 教職員間の連携や指導力の向上を図ることを目的として校内研究会や行事へ積極的に参加します。

## 7. 学びの21世紀塾

幼児・児童・生徒の主体的、意欲的な「学びの姿」を学校や家庭、地域の協力により実現させる事業として実施します。

### ① いきいき寺子屋活動事業

実施期間：令和5年4月～令和6年3月

希望に満ちた子どもたちに学ぶことの楽しさを伝え、確かな学力を保障します。

講座名		会場	内容等
1	土曜日 寺子屋講座 (20会場)	・市内全小学校(11校)	・算数・英会話・そろばん・国語 ・社会・理科・英語
		・市内全中学校(6校)	・数学・英語・国語・社会・理科 ・高田中は数学・英語・国語講座で習熟度別指導を実施
		・幼稚園(2園)	英会話
		・教育会館	合唱

2	土曜日 タブレット講座 (8会場)	・高田小学校 ・桂陽小学校 ・河内小学校 ・戴星学園 ・真玉小学校 ・臼野小学校 ・三浦小学校・香々地小学校	・タイピング ・イラスト、画像加工 ・音楽や動画作成 ・地図アプリ活用 ・プログラミング・Word, Excel 等
3	夏休み冬休み 特別講座	・高田中学校	・国語、数学、英語、理科、社会 (基礎・応用コースの選択制)
4	水曜日講座 (6会場)	・高田中学校・河内中学校 ・戴星学園 ・田染中学校 ・真玉中学校・香々地中学校	・国語、数学、英語、理科、社会
5	幼稚園講座	・夢いろ幼稚園 ・キラリいろ幼稚園	・英会話、文字遊び、体操 ハッピータイム
6	寺子屋昭和館	・勤労青少年ホーム2階	・放課後学習支援
7	寺子屋プラチナ館	・中央公民館2階	
8	まなびのひろば	・河内小学校体育館ほか	・運動遊び、ものづくり 等
9	寺子屋放課後 児童クラブ	・たかだ児童クラブ(高田小)	・放課後学習支援
		・なかよし児童クラブ(桂陽小)	
10	高校生のための 学びの 21 世紀 塾	・豊後高田市教育会館 ・中央公民館	・予備校講師による塾「うみね」 ・未来の教師養成塾 ・土曜特別講座

## ② わくわく体験活動事業

実施時期： 令和 5 年 5 月～令和 6 年 3 月

様々な体験活動を通じ、感動を分かちあいながら子どもたちの豊かな心を育みます。

	活動名	会場	内容等
1	週末子ども育成活動	中央公民館 地区公民館 そば道場ほか	対象：各公民館区の児童 大人と子どもが楽しく交流し学びながら、安心 安全な地域の居場所作りをめざす。 内容： ・工作活動 ・発明クラブ活動 ・各種体験活動 ・そば打ち教室 ・草地おどり教室 ・豊後みさき太鼓など

2	ステップアップスクール 2023	未定	<p>対象：市内小学校4～6年生          期間：12月開催（予定）          近年のライフスタイルや子どもたちを取り巻く環境の大きな変化に対応できるよう、心豊かにたくましく生きる「ぶんごたかだっ子」の育成を目指します。</p> <p>内容：          創作活動、フィールドワーク、スポーツ活動など1日を通して「生きる力」を養成するプログラムを行います。</p>
---	---------------------	----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ③ 学びの21世紀塾市民講座開催事業

実施時期：令和5年5月～令和6年3月（予定：年10講座程度）

豊後高田市の知の拠点である市立図書館において、令和5年度も魅力的な講座を開催し、市民同士の交流とまちのにぎわい創出を図ります。

	講座名(仮称)	会場	内容等(予定)
1	市民講座(子ども向け)	図書館集会室	工作講座 リースづくり講座 等

### ④ のびのび放課後活動事業

実施時期：令和5年4月～令和6年3月

心身ともに健やかな子どもたちの育成のため、各スポーツ団体等の活動を支援します。

	事業名	内容等
1	情報提供事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページにて登録団体の一覧を掲載し、入会希望者への紹介を行う</li> <li>登録団体の責任者が集う会議の開催</li> </ul>
2	活動補助事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑な団体運営のため、活動に必要な用具等を支援する。</li> <li>豊後高田市在住の団員数に応じて限度額を設ける。</li> </ul>

以上の各種施策を総合的に推進し、学力向上を図ります。